

探訪 チャレンジ企業 86

スポーツクラブ感覚の市民農園「さん菜園 河北潟」

木野建設株式会社：森本

今回は、金沢市森本地区でチャレンジする企業「木野建設株」をご紹介します。

当社は昭和四十九年に創業して以来、道路工事や河川工事、埋め立て工事など、あらゆる土木工事を請負う建設会社として歩んできました。また、「明るく住み良い街づくり」を心がけ、地域に根ざした企業として森本地区における地域貢献活動にも取り組んでいます。

当社は公共事業の減少に対応するため、品質面では平成二十二年二月にISO9001の認証を受け、さらに「環境保全への取り組み」を経営理念として取り入れ、同年七

月にISO14001の認証を受けました。

滞在型市民農園を設立

ISO認証後、これからの環境保全への取り組みをどのように推進していくかについて、木野市一(きの いちかず)社長は、「遊休地を市民農園として生まれ変わらせ、一般の方に農業への関心を高めてもらうこと」そして、「野菜の産地を気にする必要が無い生食方、自分で野菜を作って自分で食べる。『自産自消』を推進すること」、さらに「農業を通じて親睦を深める交流人口の拡大を通じて地域振興」の三つを事業として成立させたいと考えました。



木野市一社長(右)と木野昇専務

この目標に向け、平成二十三年に市民農園整備促進法による市民農園の申請を行い、平成二十四年に石川県建設業複業化支援プログラムの補助金を受け、河北潟干拓地内の

遊休農地を整備して滞在型市民農園「さん菜園 河北潟」を設立しました。

金沢駅から車で二十分

「さん菜園 河北潟」は金沢駅から車で二十分の津幡町湖東の土地約一万三千㎡を借りて整備されました。この広大な土地を一五〇区画にして、一区画約六〇㎡の土地を一年間一万五千円で利用希望者に貸し出しています。

県内では、建設業の農業参入はこれまでもありましたが、畑を貸し出す農園は初めての試みとなりました。

農園となったのは遊休農地といっても十年以上雑木林だった土地で、当社所有の重機で開墾し、水道を整備し、既存の建物も改修して休憩用の施設を設置しました。

差別化への取り組み

一般的な市民農園との差別化を図るため、「会員制スポーツクラブ感覚」を目指しています。



新品の農機具を無料でレンタル

具体的には、農業初心者の方でも安心して野菜作りを楽しめるように農業従事者をインストラクターとして常駐させ、季節の野菜の植え方から育て方まで困ったらいつでも相談できる体制を整えています。



北海道のような開放感! 13,000㎡の農園

また、一般的な市民農園では区画を割り振られた後は、貸しっぱなしとなり、自分で農機具を持ち出しする必要がありません。しかし「さん菜園 河北潟」は、新品のシャベルやジョウロ、鍬、一輪車、小型耕運機や堆肥も用意して、無料で貸し出しするなど、とても充実しています。

さらに「さん菜園 河北潟」には自動販売機やトイレも設置した休憩所があり、休みながら農作業するのに最適で、「スポーツクラブ感覚」を至る所に取り入れています。

夢に向かって

今後の展開について、「さん

菜園 河北潟」では、収穫した野菜を売りたい方のための即売所としての機能や地元スーパーと連携した販売支援についての取り組みを現在模索しています。

また、木野社長は、農地の貸し出し先のお客さん同士が挨拶程度での交流で終わるのは残念であり、パーベキュー大会等のイベントを開催するなどして親睦を深め、丸一日、賑やかに過ごせる農園に育てていきたいと語っていました。

そして、「さん菜園 河北潟」をモデルケースにして、河北潟の多くの耕作放棄地・遊休地を「滞在型農園」に生まれ変わらせ、より多くの方が丸一日楽しく過ごせる農園にしていきたいとのこと、社長の夢へのチャレンジはさらに続いていきます

(お問い合わせ先)

木野建設株式会社

〒九二〇一三二〇一

金沢市才田町は五八番地

TEL〇七六一五八八五一一三

FAX〇七六一五八八五〇九四

さん菜園 河北潟

直通(平日九時~十七時の間)

〇九〇一三七六一五一一三

(取材・執筆・県連合会経営支援課

専門経営指導員 中川 真一)

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。